

次世代プロジェクトのOBから現役プロジェクト生に向けたメッセージ

修了生の声

■ 本学修了年月 2024年3月 ■ 所属研究科 言語文化研究科
■ 現・就職先名 大阪大学人文学研究科外国学専攻 ■ 氏名 M.N.

Q. 次世代プロジェクトの支援がどのようにご自身のキャリアにつながりましたか？

A. プロジェクト生への研究費なしでは、博士論文をスムーズに完成できなかったと思います。人文学系アカデミアでの就活では博士号はほぼ必須ですので、研究費を有効活用し、学位取得に向けて研究に打ち込めたことで、今後のキャリアを切り拓く素地ができたと思っています。

Q. 印象に残る次世代キャリア開発・育成コンテンツについて

A. 北米研修が特に印象に残っています。アメリカの今を知れる大きな経験だったこともさることながら、各研究科から参加者が集い、多様な人脈を拡げられたのも意義深いことでした。個人では決して得られない研修内容ですので、全てのプロジェクト生にオススメです。

2025年4月から
リニューアルオープン
しました

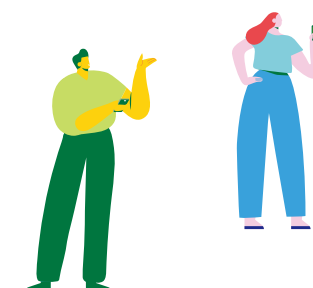
●次世代プロジェクト履修生ポータル (プロジェクト生専用)

プロジェクト生の研究成果発信および履修についての詳細や授業科目以外のキャリア開発・育成コンテンツの案内などトータルにサポート



●次世代Newsletter

本プロジェクトに関する最新情報を発信



大阪大学

学際大学院機構 / マネジメントオフィス次世代研究者育成推進部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号

●ホームページ <https://itgp.osaka-u.ac.jp/jisedai/>

●お問い合わせ <https://forms.office.com/r/Vvd054HkK0>



2025.07

JISEDAL

学際融合を推進し社会実装を担う 次世代挑戦的研究者育成プロジェクト

Next Generation Researcher Development Project

2024年度 プロジェクト活動報告



大阪大学
学際融合を推進し社会実装を担う
次世代挑戦的研究者育成プロジェクト

Next Generation Researcher Development Project

プロジェクトの概要・目的

大阪大学では「卓抜した研究力で変容する社会と呼応しながら、先を読み柔軟な対応で自らの研究を高め、未来社会を創造する人材」こそ、社会から求められる力強い博士人材と考え、本プロジェクトでは、この人材を集中的に育成しています。力強い博士人材に求められるものは何でしょう。まずは**圧倒的な研究実践力**です。加えて必要なのは、自らの研究でどのように未来社会を創造していくかという**社会実装力**です。本プロジェクトでは全ての研究科の学生を対象とし、自らの研究成果を社会に呼応させる気概と、社会において即戦力となり未来社会を創造するコンピテンシーをもつ学生の育成を目的に、研究室の枠を越え「学際融合」「トランスファブルスキル」「国際性」「産学共創・社会学共創」の4つの領域において研究実践力・社会実装力育成のための教育を行います。

- **対象者** 本学大学院の博士(後期)課程に在学する者
- **支援内容** 研究奨励費(生活費相当)月額18万円+研究費年額48万円を支給

研究実践力・社会実装力の育成



授業科目以外のキャリア開発・育成コンテンツ紹介

- 英語論文投稿支援(校正・投稿)・英語テスト受験支援・英語/日本語レッスン支援
- 次世代学生企画海外研修・インターンシップ支援・共同研究など

PICK UP!

PICK UP 1 北米研修

- 研修滞在先** アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ
- 研修期間** 2025/2/12(水)~20(木) 実施
- 研修内容**
- 2/12(水) 日本出国、現地到着(現地時間)
 - 13(木) 大阪大学北米拠点およびカリフォルニア大学バークレー校にて講義キャンパスツアー
 - 14(金) WiL社にて講演 Japan Innovation Campus見学シリコンバレー見学および講演
 - 15(土) グループワーク①
 - 16(日) グループワーク②
 - 17(月) スタンフォード大学サイトビジット
 - 18(火) ハース・ビジネススクールにて講義および英語ピッチワークショップ
 - 19(水) 現地出発
 - 20(木) 帰国



スタンフォード大学
2025.2.17



カリフォルニア大学
バークレー校
2025.2.13



本学北米拠点
2025.2.13

PICK UP 2 次世代CareerCafé [2025年度より授業化]

様々な領域でキャリアを積む講師による講演、また講師を中心にプロジェクト生同士が交流・情報交換できるイベントを開催しました。

